



夜の闇に包まれた六甲山系西部の森で、キノコ的一种、シイノトモシビタケが神秘的な薄緑色の光を放っている。

高さ1〜3センチ程度、夏から初秋にかけて育つ。兵庫県立人と自然

シイノトモシビタケ

六甲の森 闇夜にぼっ

の博物館（三田市）な外から持ち込まれた木
どによると、ホタルのを植えたのがきっかけ
ように酵素の反応によって発生したとされる。
って発光する。胞子を木の幹やくぼみの中
運ぶ虫を夜間にも引きでしっとりどぬれたか
寄せるためともいう。さの列。暗闇にぼんや
八丈島（東京都）やりと浮かび上がる姿が
和歌山県などに分布。梅雨の夜を演出する。
六甲山中では、兵庫県

（風斗雅博）

闇の中で薄緑色に光るシイノトモシビタケ＝神戸市内